

COBOL 環境

[COBOL]

OS

MVS(Multiple Virtual Storage)

IBM 社製メインフレームコンピュータ システム /370 や システム /390 (System z の前身) の上で広く使われたオペレーティングシステム (OS)

- ・ファイルは、MVS では「データ・セット」と呼ばれる。
- ・ファイルは「カタログ」によって組織・系統立てられる。
- ・1つの MVS は1つの物理システムを占有する。その論理的な単位を1つの「論理区画」(Logical Partition, LPAR) という。
- ・ファイルシステムは、レコード・オリエンテッド・ファイルシステム (レコード志向ファイルシステム)
- ・ファイル名は階層的に組織・編成され、ドットによって分けられる
- ・階層の名前は、8文字まで認められる。ファイル名の全体の長さは、44文字まで
- ・ドットによって分けられたコンポーネントは、他のオペレーティングシステムのディレクトリのように使われる (ネーミング上の慣例にすぎない)

OS/390

IBM のメインフレームコンピュータ System/370 と System/390 用のオペレーティングシステム

- ・OS/390 は、1995年後期に、MVSの後継版としてデビュー
- ・またいくつかの改良を加えられて、ブランドは z/OS となった

Z/OS

IBM が製造・販売している汎用コンピュータ (メインフレーム) 用オペレーティングシステム

- ・OS/390 の後継 OS
- ・Java 言語の実行が可能
- ・UNIX API、および UNIX アプリケーションをサポート
- ・TCP/IP および Web との通信も可能

ツール

TSO(Time Sharing Option)

- ・MVS、OS/390、z/OS 環境での相互対話式のコマンドラインインタープリタ
- ・UNIX の Bourne Again Shell や Windows の cmd と同じ役割

ISPF (Interactive System Productivity Facility)

- ・MVS、OS/390、z/OS 環境で使われるツールセットの1つである

- ・スクリーンエディタを含むユーザーインターフェース